

平成 29 年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2 対象者

市内在住の世帯

3 調査方法

郵送により調査票の送付及び回収を行った。

4 調査項目

(1) エネルギー消費量

平成 29 年 1～12 月の電気・LP ガス・灯油・ガソリン・軽油の使用量

(2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5 調査期間

平成 29 年 1 月～12 月

6 回答世帯数・世帯の概略

(1) 世帯数：61 世帯

(2) 世帯の平均人数：3.0 人（1 人～7 人）

(3) 住居の種別：一戸建て 58 世帯／アパート 3 世帯

(4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 2.1 台／軽油車 0.5 台

7 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの 1 世帯あたりおよび 1 人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表 1 のとおりであった。

エネルギー源	温室効果ガス排出量(単位：kg-CO ₂)					
	1世帯あたり(H28)	1世帯あたり(H29)	増減(H28→H29)	1人あたり(H28)	1人あたり(H29)	増減(H28→H29)
電気	2,734.0	2,804.3	2.57%	906.5	919.7	1.46%
LPガス	345.7	394.0	13.97%	114.6	129.2	12.74%
灯油	1,661.0	1,643.8	-1.04%	550.7	539.1	-2.11%
ガソリン	2,885.3	2,631.9	-8.78%	956.7	863.2	-9.77%
軽油	73.2	46.4	-36.61%	24.3	15.2	-37.45%
合計	7,699.2	7,520.5	-2.32%	2,552.9	2,466.4	-3.39%

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表2のとおりである。過年度分集計結果との比較のため、平成25年度より変更していない。

表2 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516 [*]	ガソリン	2.3
LPガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5		

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、LPガス、灯油の合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、4.74t-CO₂であった。実行計画に掲載されている、平成20年度(2008年度)の排出量推計結果(3.12t-CO₂/世帯)と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.5倍と大きくなっている。

表3 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較 増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計(H20年度)	前回(H28年)	今回(H29年)	増減率(H20→H29)
3.12	4.74	4.84	55.1%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下のとおりであった。

- ・省エネへの意識を常に持つ
- ・節約のための生活を心がける
- ・白熱灯、蛍光灯をLEDに取り替える
- ・一番利用する部屋において、メインと間接照明と使い分けるようにする
- ・凍結防止帯は暖かい日中はコンセントを抜く
- ・外出中はコンセントを抜く
- ・外出する際は暖房を早目に消す
- ・短い距離への移動は徒歩にする
- ・使用していない電気はこまめに消す
- ・エアコンをつけっ放しにしない
- ・外出時は行先をまとめて運転をした
- ・夏の車はクーラーをつける前に窓を開けて、クーラーをなるべく使わないようにする
- ・入浴施設を利用するようにする
- ・ストーブの設定温度を低くする
- ・お風呂に続けて入る
- ・冬場の厚着や、ブランケットの利用
- ・冬場は一つの部屋で過ごす
- ・暖機運転を控える
- ・窓に断熱フィルムを貼る
- ・野菜をレンジで加熱する
- ・食器洗いの前に汚れをふく
- ・炊飯器の保温にしたままにしない
- ・ソーラーパネルの設置
- ・テレビを省エネタイプに交換
- ・エコキュートに交換
- ・洗濯機、冷蔵庫を節電のものに替える
- ・ハイブリッド車に乗り換える
- ・電気自動車に乗り換える